

論理学を'分離規則'から眺める—論理的措定の炙り出し

田村高幸 (Takayuki TAMURA)

千葉大学大学院社会科学研究院

論理学の基礎を支える推論関係(に連言)を「分離規則」を中心に眺め捉えなおすことによって、公理及び定理性の条件をもつ基礎となる論理システムの構築ができる。これを用いると、定理性、定理性の条件の表現可能性、拡張分離性、三段論法性、**Fregerian Syllogism**、**Simplification**、**Relevancy**、対偶性、同一性、推移性、連言の結合法則性、可換性、選言除去性、排中律等既存の論理システムでの論理的措定やそれらの相互関係を明らかにできる。